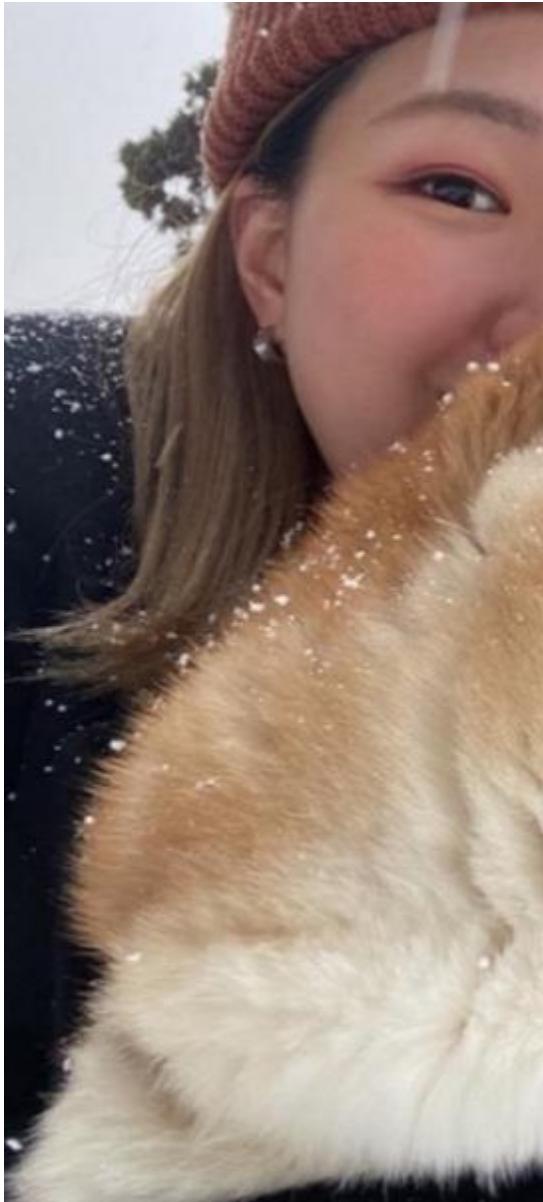


やまとじ  
かす  
つも  
おも

# 大和路に微かに音の雪しぐれ 積りつ想う秋田のおぼこ

令和七年八月十九日

大中臣正比呂



男鹿半島の冬は寒い。でも、春ともなれば弘前のトンネルを潜り花見酒となるのも嬉しい。

地元でなら、冬場はカンカネ洞に藁わらしいて、二人熱燄、雪見酒である。ワン、ワンワン、と犬のフジはうるさい。おまえ、酒でも飲みたいのか？

あ、「なまはげ」が来たのか！

